

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		学校図書
教科書名		みんなと学ぶ（まなぶ）小学校（しょうがっこう）算数
調査 ・ 研究 の 項 目	A 内容の 選択	<p>○学習展開が小単元毎に書かれ、さらに活動例（比べたい、表したい、伝えたい、確かめたい等の言葉）が具体的に記されており、主体的な学びが身に付きやすい、教師にも分かりやすい。</p> <p>○算数の内容の土台の一つであり理解が難しいとされる「倍の概念」を特設的に扱い、重点化が図られている。</p> <p>○新設領域「データの活用」では、グラフの読み方・書き方等の知識・技能の学習と「活用」の学習を別単元にしているため、本領域で重視すべきことが分かりやすい。</p>
	B 構成・ 分量	<p>○適用問題が基礎的なものに厳選されており、また作図技能は、スモールステップの写真を取り入れているなど、基本的な内容の定着を図りやすい。</p> <p>○「できるようになったこと」「学びを生かそう」「深めよう」のページにより、「主体的で対話的な深い理解」が実際の学習によって展開できる。</p> <p>○教科書のサイズが大きく、書き込みができるページがあることにより、次のよい点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字視写等に課題のある児童への個別的配慮ができるとともに、内容理解への指導時間が確保しやすい。 ・棒グラフ・折れ線グラフの図が大きく示されるなどにより、より多くの児童が読み取りやすい。 ・児童が（保護者も一緒に）自宅で教科書を使って復習しやすい。
	C 表使 記用 ・上 表の 現便 及び宜	<p>○単元で重視したい数学的な見方・考え方を「考え方モンスター」（キャラクター）で別々に示しているため、数学的な見方・考え方が具体的に分かる。</p> <p>○タイトル「考えるノート」（ノート名人になろう）は、児童自身が考えや疑問を記入する方法がわかりやすく示されている。</p> <p>○直接書き込むページがある。</p>
	D そ の 他	<p>○棒グラフを色だけでなく模様を付けるなどして、ユニバーサルデザインの配慮がなされている。</p> <p>○「プログラミング的思考」のページが分かるように巻末に設定されている。</p> <p>○6年生の「中学校へのかけ橋」が別冊になっており、総まとめ学習や中学校の内容の一部に触れることができるため、習熟度別指導に適している。</p>

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		東京書籍
教科書名		新しい算数
調査・研究の項目	A 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> ○「つないでいこう算数の目」「いかしてみよう」などは、数学的な見方・考え方を確かめたり、日常上生活で学んだことを生かして考えたりする問題になっており、思考力を高めるだけでなく、算数を学ぶ意義や算数への興味・関心につながる。 ○解決方法が多様に示されており、習熟度に合わせながら、多様な考え方に合わせることができる。 ○新たに4年生から導入された「割合」にかかわる学習（倍の概念）を、3年生以上で単元化することで、下の学年から丁寧に扱っている。
	B 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○適用問題の分量が適切で、児童の負担にならない。また、計算問題が基礎的なものと発展的なものに色付けされており、取りませ方を工夫できる。 ○単元導入ページは見開きで、既習想起と課題提示がセットになり、解決方法のページはめくらないと見えないようになっているので、児童が自分で考える時の妨げにならない。 ○目次で本単元の前学年や次学年の内容とのつながりがわかりやすく示されており既習を自分で見つけられる、算数学習の体系的なつながりがイメージできる。
	C 表使用・上表の現便及び宜	<ul style="list-style-type: none"> ○文章表現が平易で、視覚的要素が多いので、親しみをもって取り組める。 ○1年生の入門期の本（1年－1）を大判薄型にしてあり、おはじきを置くなどの操作活動がしやすい。 ○児童に気づかせたい見方・考え方が吹き出しになっており、教員が教材の意味を理解しやすい。
	D その他	

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		大日本図書
教科書名		たのしい算数
調査・研究の項目	A 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> ○反復練習がしやすく、児童の基礎学力を定着することに効果的である。 ○単元初めに写真や図を多く使っていることで、日常生活と結びつけやすく、苦手意識のある児童にも意欲が出やすい。 ○「読み取る力を伸ばそう」というページが設けられており、学習したことを生かして発展的、応用的な学習に取り組める。
	B 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○適用問題が基礎的なものに厳選されており、理解の定着に適切な分量、児童の負担にならない、若手教員が1問ずつ丁寧に解説できる。 ○まとめの言葉が短くてわかりやすい。 ○目次で本単元の前学年や次学年の内容とのつながりがわかりやすく示されており既習を自分で見つけられる、算数学習の体系的なつながりがイメージできる。
	C 表使用・上表の現便及び宜	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年が1冊になっていることで、学期を超えて既習事項を振り返りやすくなっており、児童が問題を自らの力で解決することができる。 ○知識のまとめではなく、どのように考えをまとめておくと解決ができるようになるかが示されていて、自力で解決するための支援が丁寧である。
	D その他	<ul style="list-style-type: none"> ○「プログラミングに挑戦」というP表現で、プログラミング思考にかかわるページが明記されている。

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		啓林館
教科書名		わくわく算数
調査 ・ 研究 の 項 目	A 内容の選択	<p>○基礎的な内容が充実しているとともに「やってみよう」のコーナーがあることで習熟度にそって、発展的な問題を選択しやすい。</p> <p>○1ページの分量が厳選されているので、45分でやり残すことなくできる。</p> <p>○数量関係に着目して演算決定できるように、図的表現「線分図」「数直線」「テープ図」を問題に合わせて、対応させながら複数同時に示している。</p>
	B 構成・分量	<p>○基本的な問題が必ずページの上段にあることで、基礎的な内容を確実に児童に指導でき、習熟度別指導でも扱いやすい。</p> <p>○練習問題が巻末にもあり全体に量が豊富である。基礎的な知識・技能の定着を図りやすい。</p> <p>○6年生「円の面積」は複雑な計算を要するが、2学期に配置されているので、学習姿勢が定着したところに指導できる。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○目次に前学年までに学習した内容と関連する単元とが示されているので、既習を想起させたり、自主学習したりできる。</p> <p>○小単元内のめあてを赤字で示しているので、目立ち捉えやすい。</p>
	D その他	<p>○QRコードで見られる、動画の質が高い。デジタル教科書のように活用できるので、自宅学習にも有効である。</p> <p>○6年巻末に著名人の写真やインタビューが掲載されており、算数と様々な職業とのつながりが感じられ、キャリア教育につながる。</p>

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		教育出版
教科書名		小学算数
調査・研究の項目	A 内容の選択	<p>○数直線の背景にマス目を入れるなどして、図に表した数量の関係を視覚的に捉えやすくしている。</p> <p>○算数用語への解説が入っているので、基礎学力を定着させることができる。</p> <p>○簡単な分数（$1/2$，$1/3$）の指では、図を用いた活動を多様に示し、分数という数の見方の豊かさを重視している。</p>
	B 構成・分量	<p>○巻頭「学びの手引き」のページや、既習内容・算数用語が巻末にあることで、児童が自分で確認したり振り返ったりできる。</p> <p>○小問毎に、現在学習している内容に関連するページ（ステップアップ問題、前学年までの振り返り問題等）が示されており、個に応じた指導に役立つ。</p> <p>○単元毎のまとめのページが単に問題を並べるのではなく、それまでの学習過程を想起させるに工夫されているので、自主学習がしやすい。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○「友だちのノートを見てみよう」というタイトルで、児童にとって、ノートを記入する方法が分かりやすくなっている。</p> <p>○巻頭で、教科書の使い方や学習の進め方、わくわく算数学習等、学び方についてまとめて説明しているので、学び方についていつでも振り返らせやすい。</p>
	D その他	<p>○5年図形単元後に「プログラミングにちょうせん」ではプログラムやプログラミングという言葉そのものや画面上に出てくるであろう「命令ことば」を紙面で説明している。</p>

令和元年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等 算数科	採択資料作成会座長名 吉行 一敏
--------	---------	------------------

教科書発行者（会社）名		日本文教出版
教科書名		小学 算数
調査・研究の項目	A 内容の選択	<p>○次の単元のためのレディネス問題が充実している。</p> <p>○基礎・基本の問題の中でも、確実に定着させたい問題に色付けがされており、習熟度に合わせて指導ができる。</p> <p>○データ活用による問題解決の流れを「データを集めて、調べて、問題を解決」のページで紹介し、実際の探求活動をしやすくしている。</p>
	B 構成・分量	<p>○折り込みページを多く使用し、ページをめくらないと解決方法や授業展開が見えないようになっているので、児童の思考する活動を妨げない。</p> <p>○ページごとの写真や挿絵の配置バランスがよく、すっきりしているので、児童が見やすく、取り組みへの意欲につながりやすい。</p> <p>○1年生で、保幼小連携を意識し、かつて経験したであろう数的な生活場面の写真があり、「算数」学習への自身につなげる工夫がある。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○問いが大きく太字で書かれており、問題であることを理解しやすい。3年のテープ図には、テープが何の数量を表しているのかが分かるように具体絵が添えられている。文章の読み取り力の個人差への配慮がなされている。</p> <p>○リスの挿絵が、つまずきの多い部分へのヒントにつながっている。定型化されているので児童が使いやすい。</p>
	D その他	<p>○WEBマークで、会社のホームページ（デジタルコンテンツ）を案内している。</p>